# 工学系数学統一試験

- 工学系数学を測る -

## 取り組みませんか

「工学系数学基礎学力の評価と保証」 (平成17年度特色 GP 採択プログラム)

> 広島大学工学部 山口大学工学部



## 工学系数学とは

- (1) 工学部生に必要な能力
  - 対象事象の抽象化,モデル化
  - 数学への結び付け
  - 数学的解決
  - 実現可能な解を得る

#### (2) 数学への要求

- 幅広く,多くの数学分野へ精通
- この数学分野が,どの工学対象分野に応用があるか
- どのような数学的解法があるか
- 実行可能な解法は何か



### 目的・目標

全国どこでも通用する工学系数学基礎学力の評価・保証: PDCA(Plan-Do-Check-Act) サイクル(図1)に基づく

【ステップ1:基礎分野,授業項目,達成目標の提示】

【ステップ2:統一試験(マークシート方式)の実施】

【ステップ3:基礎学力,達成度の判定・評価】 (図2の赤色のサイクルの下向方向)

【ステップ4:教育へのフィードバック】

- 統一試験の改善(統一試験の PDCA サイクル:図 2 の赤色のサイクル)
- 教育効果の評価,内容の点検と改善(教育の PDCA サイクル:図3の青色のサイクル)。

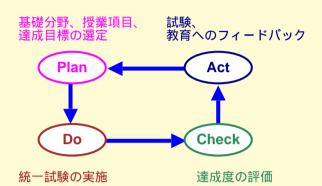


図 1: 本取組における PDCA サイクルの概要

- 学部教育における「基礎学力の強化」、「成績評価厳格化」、「質保証,自己点検・評価の充実」など を実現する具体的方策
- 工学系数学教育では初めての取組

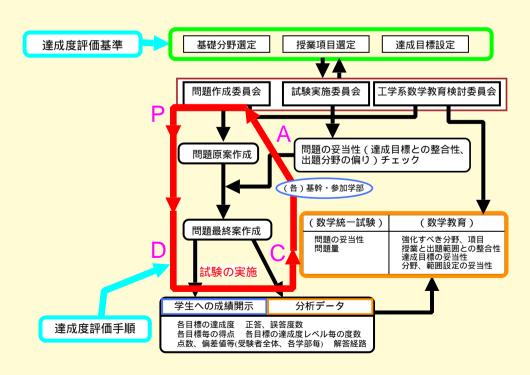


図 2: 数学統一試験についての PDCA サイクル

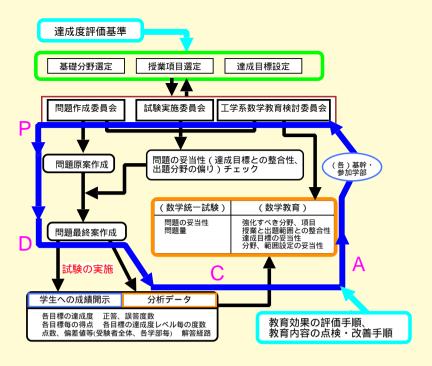


図 3: 工学系数学教育についての PDCA サイクル

## 教育上の効果

#### [A] 学生の基礎学力評価について

- (1) 学生への効果
  - (a) 工学者としてのレベルアップ: 論理的思考力,モデル化能力の強化
  - (b) 確実な数学学力と客観的達成度の獲得: 全国どこでも通用する数学基礎学力の評価
- (2) 人材養成に関する効果: 質保証のための自己点検・評価の充実,基礎学力 が保証された人材育成

#### [B] 数学教育へのフィードバックに関して

- (1) 教育効果測定のための客観的方法の獲得
- (2) 学生の基礎学力の客観的な評価機能の獲得
- (3) 数学教育の自己改革機能の獲得(教育効果の 評価,内容の点検と改善)

## 実施体制

基幹学部: 本取組に学部全体で主体的に携わる(現在は,広島大学と山口大学の両工学部)

参加学部: 学科単位あるい は研究室単位での関与 (数学統一試験の受験 による学生の学力評価 が中心)

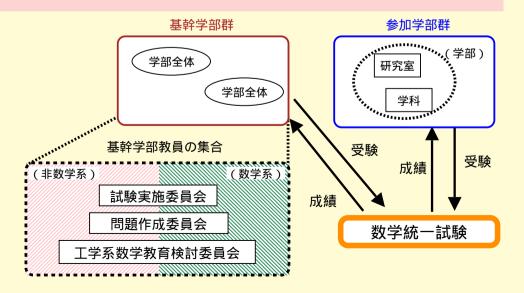


図 4: 本取組の実施体制

表 1: 本取組の年間計画(基幹学部の場合)

(参加学部の場合は数学統一試験の受験と実施作業が主な役割:問題作成委員会等への参加 方法は柔軟に対応)

| 時期      | 実施項目                      | 内容                   |
|---------|---------------------------|----------------------|
| 5月      | 問題作成委員会の開催                | 達成目標の確認と検討,および追加,削除, |
|         |                           | 等の修正                 |
| 6月      | 問題作成委員会と教育検討委員会の合同委       | 達成目標の確定              |
|         | 員会開催                      |                      |
|         | 試験実施委員会の開催                | 広報活動の計画と実施           |
| 7月~10月  | 問題作成委員会の開催                | 試験問題原案の作成と検討         |
| 10月     | 問題作成委員会と教育検討委員会の合同委       | 試験問題原案と達成目標の整合性チェック  |
|         | 員会開催                      |                      |
| 11月,12月 | 試験実施委員会の開催                | 統一的試験実施準備            |
|         | 問題作成委員会の開催                | 試験問題最終案の検討と作成        |
| 12月     | 工学系数学統一試験の実施,採点           |                      |
| 1月      | 成績の開示, <mark>達成度評価</mark> |                      |
| 2月      | 問題作成委員会の開催                | 試験結果の分析と検討           |
| 3月      | 問題作成委員会と教育検討委員会の合同委       | 教育へのフィードバック作業(教育効果の  |
|         | 員会開催                      | 評価,教育内容の点検と改善)       |
|         | 全委員会合同年次総会の開催             | 本年度の総括,次年度委員の選出,次年度  |
|         |                           | 実施計画の検討              |

## 参画依頼

#### 本取組への参画をお願いしたい。

- 参加学部として(数学統一試験の受験を足がかり)
- 基幹学部への速かな移行

## 詳細な情報

1. 本取組について(広島大学のホームページ)

http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/koho/kyouikugp/tokusyokugp17/p\_3a9e75.html

2. 工学系数学統一試験ホームページ

http://www.infonets.hiroshima-u.ac.jp/
Exam\_Math/

## 問い合わせ先

#### 取組担当者

広島大学大学院工学研究科 教授 渡邉 敏正

〒 739-8527 東広島市鏡山一丁目 4-1

E-mail: watanabe@infonets.hiroshima-u.ac.jp

Tel : 082-424-7662

Fax : 082-422-7028(研究室) 082-422-7195(類事務室) URL : http://www.infonets.hiroshima-u.ac.jp/

(2005年9月作成)